

## 大阪大学図書館報

Vol. 17, No.5/6 February 1984

## 目次

- |                      |      |
|----------------------|------|
| ○オランダ科学協会刊ホイヘンス全集のこと | ○会 議 |
| ○引用検索 (1) 研究課題の発展    | ○日 程 |
| ○高額図書資料懇談会発足する       | ○人 事 |
| ○教官著作寄贈図書            |      |

## オランダ科学協会刊ホイヘンス全集のこと

原 亨 吉

いわゆる「科学革命」の大立物のひとりであったホイヘンス (1629—95) の、22巻から成る全集 *Oeuvres complètes de Christiaan Huygens, publiées par la Société Hollandaise des Sciences* (La Haye, Martinus Nijhoff, 1888—1950) は、まことにすばらしい刊行物であるにもかかわらず、わが国では読まれることがまだ少ないかと思われるので、ここに許された紙面内で、何とか紹介してみたい。<sup>(1)</sup>

まず、各巻の発行年、分量、主題を記してみると、

- 巻 I—X、1888—1905、計 XIV+5445p.<sup>(2)</sup> 往復書簡：1638—95、計3007通。
- 巻 XI、1908、367p. 数学：1645—51。
- 巻 XII、1910、297p. 同：1652—56。
- 巻 XIII、1916。分冊 1、433p. 屈折光学：1653、66。分冊 2、471p. 同：1685—92。
- 巻 XIV、1920、556 p. 数学：1655—66。
- 巻 XV、1925、618 p. 天文学：1658—66。
- 巻 XVI、1929、599 p. 力学：[1652—90?]
- 巻 XVII、1932、550p. 時計：1650—66、物理学・工学：1650—66。
- 巻 XVIII、1934、702p. 時計：1666—95。
- 巻 XIX、1937、687p. 物理学 (主として力学)：1666—95。
- 巻 XX、1940、621p. 音楽学、数学：1665—95。
- 巻 XXI、1944、895p. 宇宙論：[1666—95]。
- 巻 XXII、1950、II+921p. 書簡補遺 (2通)、ヴァリア、伝記など。

さて、巻 I 冒頭の前文 (無題) によると、この刊行事業は、1882年10月、アムステルダム王立科学アカデミーにおける決議に端を発した。事業準備のための委員会 (のち編集委員会となる) には数学者 4 名、物理学者 2 名、天文学者 2 名と、ハーグ王立図書館長、ライデン

大学図書館長が入り、「何らかの秩序と理解可能な形式とのもとに置き得るものはすべて刊行する」との方針が採用された。しかし、その実行は一アカデミーの力に余るものであったため、1885年2月、同委員会はハールレムのオランダ科学協会に援助を要請し、ここに協会が事業推進にあたることになったのであったが、その完遂に要した歳月は当初予定の10倍であったと、巻XXIIの「前言」に記されている。

本全集に収められた原資料の豊かさは圧倒的であるが、この点ではホイヘンス自身の生前の配慮が大いに幸した。彼は自作の原稿と来簡を一括して上記のライデン図書館（同大学は彼の母校）に遺贈しており、発簡についても多くの下書きを保存していた。ほかに近親者による一部手稿の写しもあり、さらに国の内外に新資料が探索されたことは無論で、こうして編まれた本全集は、書簡の部だけをとってみても、この人のかなりの長寿と非常な交際の広さもあって、科学史の枠を越え、17世紀ヨーロッパ文化史上の貴重な文献となっている。例えば、従来とかく隠者めいて思い描かれがちであった修道院ポール・ロワヤルの人々について、現在パリ・ソルボンヌ大学教授である J. Mesnard 氏が1953年にそのイメージの是正を迫ったのは、この文献を活用してのことであった。

つぎに強調したいのは編集作業の優秀さで、所収作品への解説は適切、巻XXIIの「伝記」は厳正、脚注は綿密（例えば本文中で言及される人物・著作についてはすべて説明の方針）であるうえ、各巻末には周到な諸種の「表」がつけられている。これは原則として(1)目次（極めて詳細）に相当するもの、(2)人名・機関名索引、(3)著作索引、(4)事項索引から成り、わけても(4)が有難い。本全集の2年後に発足したイタリア「国家版」のガリレイ全集（20vols, 1890—1909）も極めて優れているが、各巻末の索引は人名用のみで、事項用は最終巻に一括して始めて現われたのに反し、ここでは巻Iから既に今日見ても最高水準の事項索引が具わっていたのである。<sup>(3)</sup>

「解説」については、とりわけつぎの経験を私は思い出す。巻XIIIに収められた屈折光学関係の論稿はホイヘンスの遺作中でもひとときわ大部のものであるが、必ずしも読み易くないその内容を巻頭の解説文は鮮かに解明し、それが遥かに時流を越えるものであることを示した。その解説の数学的な部分の見事さに私は強い感銘を受けたが、のち巻XXIIに至ってその筆者は H. A. Lorentz であったことを告げられ、「なるほど」と思ったことであった。

最後になったが、この全集では、各巻の表紙にも内扉にも、当のホイヘンス以外の個人名は絶えて見られない。巻Iの前文には上記10名の委員と外国の若干の協力者との名が記されたが、そののち編集者名は極めて稀にしか現われず、漸く最終巻の「エピローグ」が後任の委員14名の名を告げ、さらには各巻編集の中心人物の名を明かした。ここで始めて私たちは、例えば委員中に上記 Lorentz のほか、P. Zeeman, J. D. van der Waals といったノーベル賞受賞者を見いだすのであるが、これほどまでに名を秘した人々の献身的な態度は、まことに息の長いチーム・ワークと言うべきこの刊行事業に、ひとしおの床しさを添えている。

- (1) 本学では文学部に一セットが蔵されているが、そこにはアムステルダムの Swetz & Zeitlinger による復刻版が幾らか混っている。
- (2) 各巻頭または巻末などにあつてページ番号を欠くもの（図版その他）は算えない。以下同様。
- (3) ただし巻XVII以下では、巻中に実質的に同種のもの既に存在するとの理由で、事項索引は短縮ないし省略されている。

(名誉教授)

## 引用検索 (1) 研究課題の発展

下図にSCISEARCH というデータベース (Current Contents や Science Citation Index に相当する) による検索事例があります。検索課題は“インシュリン遺伝子の合成”で3件の文献がヒットしました。

この課題に関するこれ以上の情報は、検索用語を補充しても大差なく、他のデータベースを利用するか、違った観点から検索をやり直さなければ、新たな展開は生まれてきません。ある課題に関する文献情報を探する場合、その課題を構成する概念の該当語彙による照合作業を行っていることとなります。したがって通常の文献調査はここで終了します。

新たな展開には、新たな着想を持たねばなりません。検索例でみると照合作業で得た3件の文献以外に新たに9件の課題に関する情報が見つかっています。(図では9件の内容は示していません) これは SCISEARCH 独特の引用索引 (Citation Index) という手法で検索を行ったものです。引用 (参考) して書いた被引用 (引用された) 文献の第一著者、年、巻数、開始ページの順に入力することによって検索することができます。

引用した文献には、引用者が引用した文献情報から掘んだ共通の研究課題が内包されており、その意味で引用側文献は

- ㊦ 被引用文献に見出したのに関連のある主題内容で語彙による照合作業でもれたもの
- ㊧ 考えつかなかったが、必要であるもの
- ㊨ 既知および不必要なもの

という知的関心で結ばれている文献群から成っていると予想されます。

㊦の意味で引用検索は概念とその語彙による通常の検索を補足するだけでなく、特に㊧は、研究課題に新しい方向づけ (着想の限界を補足) を与えてくれる可能性を含んでいます。

今回は、共被引用を手掛りにした研究最先端の情報検索について解説します。

```

File34:SCISEARCH - 81-83/WK42
(Copr. ISI Inc.)
See Files 94 and 186
Set Items Description
-----
? SS INSULIN? AND GENE? ? AND SYNTHESIS ----- 語彙による照合作業
  1 8102 INSULIN?
  2 8573 GENE? ?
  3 32326 SYNTHESIS
  4 3 1 AND 2 AND 3

? 14/3/1-3
4/3/1
1429267 OATS ORDER#: QM894 0 REFS
THE CHEMICAL SYNTHESIS, MOLECULAR-CLONING AND EXPRESSION IN YEAST OF
GENES-CODING FOR HUMAN INSULIN-LIKE GROWTH FACTOR-I AND FACTOR-II
(ENGLISH)
MULLENBACH G1: CHOO QL: URDEA MS: BARR PJ: MERRYWEATHER JP: BRAKE AS:
VALENZUELA P
CHIRON CORP/EMERYVILLE//CA/94608
FEDERATION PROCEEDINGS . V42. N7. P1832-1832. 1983

4/3/2
0863092 OATS ORDER#: NR836 18 REFS
SYNTHESIS OF A HUMAN INSULIN GENE .5. ENZYMIC ASSEMBLY, CLONING AND
CHARACTERIZATION OF THE HUMAN PROINSULIN DNA (ENGLISH)
BROUSSEAU R: SCARPUZZO R: SUNG W: HSIUNG HM: NARANG SA: WU R
CORNELL UNIV.BIOCHEM MOLEC & CELL BIOL SECT/ITHACA/NY/14853: NATL RES
COUNCIL CANADA.DIV BIOL SCI/OTTAWA K1A 0R6/ONTARIO/CANADA/
GENE . V17. N3. P279-289. 1982

4/3/3
0066952 OATS ORDER#: KV567 19 REFS
SYNTHESIS OF THE HUMAN INSULIN GENE .3. CHEMICAL SYNTHESIS OF
5'-PHOSPHOMONESTER GROUP CONTAINING DEOXYRIBONUCLEOTIDES BY THE
MODIFIED PHOSPHORIBOSYLIC METHOD - ITS APPLICATION IN THE SYNTHESIS OF
SEVENTEEN FRAGMENTS CONSTITUTING HUMAN INSULIN C-CHAIN DNA (ENGLISH)
HSIUNG HM: SUNG WL: BROUSSEAU R: WU R: NARANG SA
NATL RES COUNCIL CANADA.DIV BIOL SCI/OTTAWA K1A 0R6/ONTARIO/CANADA/:
CORNELL UNIV.BIOCHEM MOLEC & CELL BIOL SECT/ITHACA/NY/14853
NUCLEIC ACIDS RESEARCH . V8. N23. P5753-5765. 1980

? SS CR=MULLENBACH G1. 1983. V42. P1832 OR CR=BROUSSEAU R. 1982. V17. P2?
  5 0 CR=MULLENBACH G1. 1983. V42. P1832
  6 2 CR=BROUSSEAU R. 1982. V17. P2?
  7 2 5 OR 6
? SS S7 OR CR=HSIUNG HM. 1980. V8. P57?
  8 8 CR=HSIUNG HM. 1980. V8. P57?
  9 10 7 OR 8
? C 9 NOT 4
  10 9 NOT 4 ----- 研究課題の発展
    
```

引用検索

↓  
研究課題の発展

## 高額図書資料懇談会発足する

附属図書館では、学術図書資料の価格高騰に伴い、教育・研究にとって不可欠な図書資料が本学から姿を消してゆくことにならないよう、その対策を検討するため、図書館長の私的委員会として高額図書資料懇談会を昨年10月から発足させた。

今後、毎月1回懇談会を開催して検討を行い、本年4月までに最終的なまとめを行う予定である。懇談会は次の委員によって構成されている。

座長	三川	禮	(附属図書館長)
委員	矢崎	光圀	(法学部教授・豊中地区運営委員長)
〃	大澤	豊	(経済学部教授)
〃	塩原	勉	(人間科学部教授)
〃	後藤	稠	(医学部教授・中之島分館長)
〃	岩田	宙造	(薬学部教授・薬学部分館長)
〃	桑田	敬治	(理学部教授)
〃	山根	壽己	(工学部教授・吹田分館長)
〃	牧之内	三郎	(工学部教授)
〃	角谷	典彦	(基礎工学部教授)

なお、懇談会は近く高額図書資料について、その実態と問題点を把握するため、全学へのアンケート調査を行うことになっている。

### 教官著作寄贈図書

#### —本館—

- 真田信治(文・助教授)  
日本語のゆれ(叢書ことばの世界)  
真田信治著 (南雲堂 昭58)
- 大久保昌一(法・教授)  
地価と都市計画 大久保昌一著  
(学芸出版社 昭58)
- 英国都市計画の先駆者たち  
Cherry, G. E. 著 大久保昌一訳  
(学芸出版社 昭58)
- 榎田孝司(理・教授)  
光物理学 榎田孝司著  
(共立出版 昭58)
- 増田祥三、小川和英(教・助教授)  
ステレオ・グラフィックス  
Pál, I 著 増田祥三、小川和英訳  
(森北出版 昭58)

#### —中之島分館—

- 吉田 博(医・教授)  
Pharmacologic and biochemical  
aspects of neurotransmitter  
receptors. ed. by Yoshida, H. and  
Yamamura, H. I.  
(John Wiley, 1983)
- 中川米造(医・教授)  
医とからだの文化誌 中川米造著  
(法政大学出版局 昭58)
- 医学とつきあい方 中川米造著  
(人文書院 昭58)
- 21世紀医療への対話; 中川米造メデイカル対談 中川米造編  
(教育広報社 昭58)

坂本幸哉(医・教授)

Glutathione; storage, transport and turnover in mammals. by Sakamoto, Y. Higashi, T. and Tateishi, N. (Japan Scientific Soc. Pr., 1983)

岩田平太郎(薬・教授)

Progress in clinical and biological research, vol. 125, ed by Kuriyama, K. Ryan, H. and Iwata, H. (Alan R. Liss, 1983)

——理学部分室——

金森順次郎(理・教授)

磁性理論の進歩 金森順次郎、守谷亨編 (裳華房 58)

楢田孝司(理・教授)

光物理学 楢田孝司著 (共立出版 昭58)

伊達宗行(理・教授)

High field magnetism; proceedings, ed by Date, M. (Norh-Holland, 1983)

千原秀昭(理・教授)

クールソン化学結合論 上、下 マックイーニ著 千原秀昭他訳 (岩波書店 昭58)

## 会 議

—分館長会議—

58. 10. 12 (水) 14:30~16:30 (中之島分館会議室)

報告事項 1.大阪大学附属図書館事務部分課及び分掌規程の一部改正について 2.図書館業務電算化システムについて 3.著作権の集中処理に関する調査研究協力者会議中間まとめ(複写問題)についてそれぞれ報告があった。

協議事項 附属図書館の将来計画について (1)医学部の吹田地区移転に伴う中之島分館の諸問題について (2)吹田分館の増築について (3)分室問題についてそれぞれ協議された。

## 日 程

- |             |                                |             |
|-------------|--------------------------------|-------------|
| 58. 10. 12. | 分館長会議                          | (中之島分館)     |
| 58. 10. 13. | 第16回国立七大学附属図書館部課長会議            | (名古屋大学)     |
| 58. 10. 13. | 第57次国立七大学附属図書館協議会              | (名古屋大学)     |
| 58. 10. 14. | 国立大学図書館協議会常務理事会(昭和58年度第1回)     | (王山会館・名古屋市) |
| 58. 10. 14. | 昭和59年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会(第1回) | (王山会館・名古屋市) |
| 58. 10. 14. | 国立大学図書館協議会理事会(昭和58年度第2回)       | (王山会館・名古屋市) |
| 58. 10. 25. | 近畿地区国公立大学図書館主題別研究集会            | (吹田分館)      |
| 58. 10. 31. | 高額図書資料懇談会(第1回)                 | (本館)        |
| 58. 11. 1.  | 昭和58年度国立大学附属図書館事務部長会議          | (よもやま館・長岡市) |
| 58. 11. 7.  | 外国雑誌センター館会議                    | (本館)        |

58. 11. 8. 昭和58年度大学図書館職員講習会 (基礎工学部・国際棟)  
 58. 11. 11. }  
 58. 11. 16. 高額図書資料懇談会(第2回) (本館)  
 58. 11. 25. 近畿地区国公立大学図書館協議会第8回館長・事務(部・課)長連絡会議  
 (兵庫教育大学)  
 58. 11. 28. 国公立大学協力委員会文献複写委員会(第29回) (奈良県立医科大学)  
 58. 12. 7. 第4回学術雑誌総合目録データ編集協力委員会 (東京大学)  
 58. 12. 8. 大阪大学図書館業務電算化(地域センター)システムに関する説明・検討会  
 (本館)  
 58. 12. 20. 高額図書資料懇談会(第3回) (本館)  
 58. 12. 21. 図書館ネットワーク連絡協議会 (東京大学)

## ■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■

58. 10. 1. 昇任 伊藤 祐三 整理課図書館専門員(整理課学術情報掛長)  
 58. 10. 1. 採用 鈴木ふぢ子 整理課洋書目録掛事務補佐員  
 58. 10. 1. 採用 岡本 裕子 医学情報課受入掛事務補佐員  
 58. 11. 15. 辞職 難波 勝也 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員  
 58. 11. 16. 採用 鈴川 一己 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員  
 58. 11. 16. 採用 清田 修 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員  
 58. 11. 30. 辞職 城 宣子 医学情報課目録掛事務補佐員  
 58. 12. 1. 採用 高楠 万里 医学情報課目録掛事務補佐員  
 58. 12. 31. 辞職 高木美代子 整理課和漢書目録掛長  
 59. 1. 1. 配置換 岩井 勇 医学情報課図書館専門員(医学情報課運用掛長)  
 59. 1. 1. 転任 岩淵 恭幸 整理課和漢書目録掛長(奈良女子大学附属図書館受入係長)  
 59. 1. 1. 出向 喜多 吉一 奈良女子大学附属図書館受入係長(吹田分館受入掛、併任)  
 59. 1. 1. 配置換 奥田 正義 医学情報課参考調査協力掛(整理課和漢書目録掛)  
 59. 1. 1. 配置換 吉川 次子 吹田分館運用掛(併任)(医学情報課参考調査協力掛)

訂正 前号(Vol. 17, No 3/4 November 1983) 9頁 図書館の概況(1)の表中職員数(内定員)欄の吹田分館16(9)は13(6)に又、合計123(79)は120(76)の記載誤りでした。お詫びして訂正いたします。